

平成29年度県立学校入学者選抜について

1) 奈良情報商業高等学校

商業系の3学科をくくり募集する

- ・流通ビジネス科、会計ビジネス科、情報ビジネス科（平成28年度定員200名）を対象
- ・第1学年は共通の教育課程で学習し、第2学年から学科を選択する

2) 平城高等学校・高田高等学校

両校の教育コースの特色選抜での募集を停止する

- ・次世代教員養成プログラム（平成30年4月スタート予定）の事業展開に移行

3) 五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校（別紙参考資料あり）

- ・平成29年度は家政科の募集を停止して農業科の単独募集にする
- ・平成30年度から全国募集を開始する予定

五條市立奈良県立五條高等学校賀名生分校 魅力向上計画(案)

五條市教育委員会検討資料

五條市は、カキ、ウメの全国有数の生産地
少子化、若者の流出、農業従事者の高齢化

農業後継者の確保が課題

そこで

賀名生分校を
農業科単独校にする
全国募集を展開する

全国から生徒を集める
教育内容・システムの
構築
分校の魅力向上

実学を重視する学校
地域と繋がった学校
しかし、
近年、入学者が減少

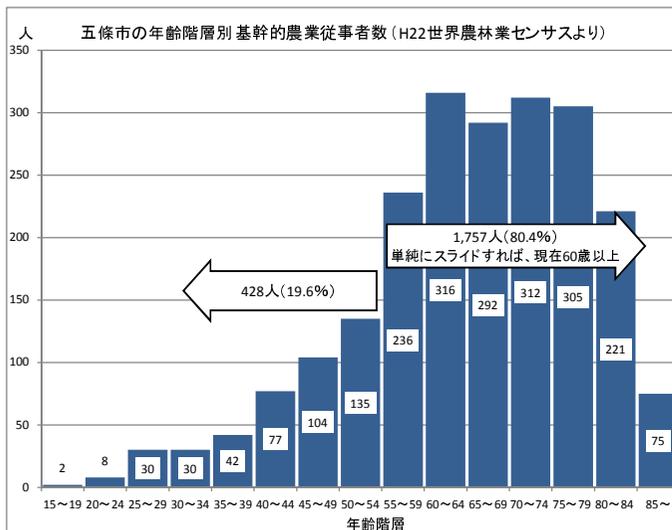
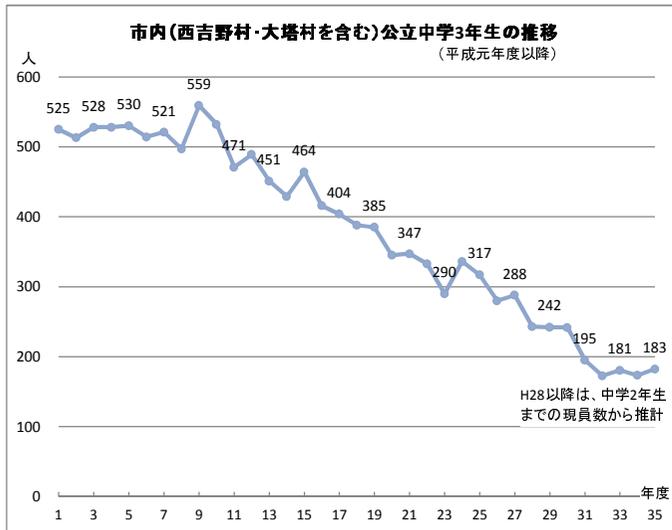
賀名生分校の概略

沿革

- ・新制高校発足直後のS25、吉野郡賀名生村が村立定時制分校として設置
- ・S34、西吉野村誕生により、設置者変更(西吉野村立)
- ・S41、北海道現場実習を開始(今年度、50周年記念式典を余市町で挙行)
- ・S49、世代間交流として「健康祭」をスタート。現在は「ふれあい健康祭」と改称
- ・H17、五條市、西吉野村、大塔村の合併に伴い、設置者変更(五條市立)

設置学科・定員等

- ・定時制課程(農繁休業を設けた昼間定時制課程)
- ・農業科、家政科を設置し、計30名を募集。収容定員は120名(30名×4学年)
- ・現在の在籍生徒数35名(1年4名 2年12名 3年11名 4年8名)



計画案の例

- ・実習を重視したカリキュラムを編成する。
- ・実習の多くを地元の農園で履修
→ 地元農業従事者から、プロの指導を受ける。
- ・県果樹薬草研究センターやNAFIC(旧農業大学校)の研究者・教官から、専門的な指導を受ける。
- ・課外活動で、農場での就労や6次産業化推進のための活動を行うなどして、学習の深化を図る。
(模擬株式会社、NPO法人等の設立の検討)
- ・実習や就労活動等により、今まで以上に地域とともにある学校づくりを進める。

就農を目指した学習の展開

- ・寄宿舎を設置し、安心できる高校生活を提供する。

4年間の高校生活
を通して

地域農業の担い手育成

過疎地への移住・定住の促進

中山間地域の活性化



北海道現場実習



ふれあい健康祭